

静岡県地学会のあゆみ(94)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024807

静岡県地学会のあゆみ (94)

東部支部活動：10月28日，西伊豆周辺の巡検会（西伊豆町天城鉾山跡（三階滝坑・滝上坑），白川上流（化石），一色（枕状溶岩），仁科川（湯ヶ島層），黄金崎）を実施（案内者：市川五郎ほか，参加者：8名）。

会誌第94号の発行：11月22日，「静岡地学」第94号を発行。地学散歩（74），第46回年会記念講演要旨，研究・報告8編，活動報告3編，その他静岡大学通信（10），地学会のあゆみ（93）を収録（71p）。

第43回年会：11月23日，三島市民生涯学習センターで開催。塚越 哲博士（静岡大学理学部・助教授）の特別講演「オストラコーダ（貝形虫類：甲殻類）の自然史研究」および工藤周一会員，高橋豊会員，市川五郎会員，加茂豊策会員，櫻井美津夫会員，久保田実会員の研究発表を実施（参加者43名）。

第153回運営委員会：11月27日，三島市民生涯学習センターで開催。（1）支部活動報告：東部；日本地学教育学会第60回全国大会静岡大会（8月18-21日）（本会共催）の伊豆巡検会のバックアップを行った。西伊豆周辺の巡検会を企画・実施した（詳細は上述の東部支部活動を参照）。西部；12月23日に三ヶ日町大崎周辺の秩父帯の巡検会を企画した。（2）ロゴマーク：各支部で富士山と会の名称を入れることを条件に作成した（計10点）。今後は1月中に修正し，3点に絞り，デザイナーに作成してもらう。そして4月の運営委員会で1点に絞り，6月の総会で了承を得ることになった。（3）GEO DATA進捗状況：東部；伊豆の鉾山，愛鷹山周辺の露頭，大仁・修善寺の板状・柱状節理を調査し，データを整理している。中部；安倍川以西の十枚山構造線を調査し，データを整理している。今後は安倍川以东（牛妻周辺）の十枚山構造線を調査する予定である。西部；石灰岩の調査を西から順に行っている。これまで浜北森林公園周辺などを調査した。また天体（はくちょう座の超新星残骸の網状星雲など）の写真データを収集した（詳細は静岡地学第94号参照）。今後は赤石裂線の調査を検討している。（4）その他：NPO静岡県自然史博物館ネットワークが「第3次ナウマンゾウ発掘調査」を行うとの報告があり，本会が後援団体になることになった。また三遠トンネル現場見学会の第二弾が行われるかもしれないとの報告があった。

（出席委員：池谷・和田・楠・島田・道林・生形・高橋・浜田・斉藤・松本・久保田・加藤・今村・森田）。

西部支部活動：12月23日，「三ヶ日町大崎周辺の秩父帯」と題した巡検会を実施（案内者：丹羽耕輔，参加者10）。詳細は「静岡地学」本号を参照。

第154回運営委員会：4月22日，中部健康福祉センター庵原分庁舎で開催。（1）各支部の年会以降の支部活動報告がされた（詳細は上述の支部活動を参照）。（2）2006年度の会計報告が報告され，了承された。2007年度予算案については，後日電子メールで協議・承認することにした。（3）2006年度の会員動向について報告され，了承された（会員数，236名；入会者，3名；退会者，7名）。（4）第44回総会について協議し，6月17日（日）13時から中部健康福祉センター庵原分庁舎で行うことにした。記念講演の内容は，第一候補を地震関係，第二候補を宇宙関係，第三候補を地球環境問題関係とした。講師は，地震関係では静岡大学の熊沢氏，宇宙関係では宇宙研の方とした。（5）2007～2008年

度の運営委員について協議した。結果は以下の通りである（敬称略）。本部委員は、会長，狩野謙一；庶務，道林克禎・楠 賢司；会計，島田雅史；渉外・交渉，和田秀樹；編集，生形貴男とした。東部委員は，保留し，東部支部で再検討することにした。中部委員は，支部長，松本仁美；行事，久保田実；編集，坂田算浩とした。西部支部は，支部長；加藤国雄，行事；今村守孝，編集；森田明宏とした。（6）ロゴマークについて協議した。ワーキンググループが用意した2種類のロゴマークを一つに絞った（要修正）。（7）各支部の創立40周年記念事業（GEO DATA）の進捗状況について報告があった。東部支部：板状節理などを個別に調査し写真データを収集。中部支部：糸静線，十枚断層の調査結果をCD化。また付加体（石灰岩・ノジュールなど）の分布調査を実施。西部支部：天体に関するデータを収集（現在20天体）・CD化。また石灰岩体の分布調査・CD化。（8）その他，中部支部長から総会時の座長として東部支部・西部支部から1名ずつ選出の依頼があった。同じく中部支部長から夏に中央構造線の巡検会（大鹿村）を企画しているとの報告があった。また日本地質学会中部支部の総会・シンポジウム・巡検会のお知らせと総会時における当会発行物の販売要請があり，販売することです承された。また編集委員から次号の静岡大学通信には，卒業生・修了生の論文の題目のみ掲載する（学生名は削除）との報告があった。同じく編集委員から地学散歩の原稿を募集しているとの連絡があった。

（出席委員：池谷・和田・楠・生形・島田・高橋・浜田・斉藤・松本・久保田・加藤・森田・今村）。